

祝 開通

平成17年4月26日

一般県道 小山田谷山線

(小山田西交差点～仁田尾入口交差点)



鹿児島県土木部
鹿児島土木事務所

整備目的

一般県道小山田谷山線は、鹿児島市小山田町を起点とし鹿児島市松元地区や山田町を經由して鹿児島加世田線に至る路線であり、鹿児島近郊への通勤・流通及び松元ICからのアクセス道路として人・物の交流を担う重要な幹線道路となっています。

しかしながら、当路線は見通しが悪く、道路幅も狭小で幹線道路として安全で円滑な交通が確保されていませんでした。また、平成5年の8・6水害では交通途絶箇所など9箇所で大被害が発生し、長期間迂回路を使用するなど地域社会に大きな影響を与えました。

このような背景から、鹿児島市小山田町から仁田尾間について、災害に強い道づくりの観点からバイパス区間を多く含む、道路改築事業を行いました。

このうち鹿児島市小山田から仁田尾間については、鹿児島市と鹿児島空港を結ぶ外環状道路の一環として重要な役割を担っています。



交通量があり大型車輛も行き交う幹線道路だが、見通しが悪く離合できないなど問題が多かった



↑国道10号の様子(土砂が道路に流れ出して鹿児島～始良間の通行が出来なくなった)



凡

例

- 「鹿児島県の道路2004」に外環状道路に位置付けられた区間(橙色)
- 鹿児島市と鹿児島空港を結ぶ区間(紫色)
- ◎ 九州縦貫自動車道・鹿児島IC～満辺鹿児島空港IC間(青色)

整備効果

道路改築事業の完成により、大きく3つの整備効果が期待されます。

①広域的な交流を支えるみちづくり

県道・小山田谷山線は、県道・伊集院蒲生溝辺線と相まって「鹿児島市と鹿児島空港を結ぶ外環状道路」として、「21世紀新かごしま総合計画」で重要な役割を担っています。

今回の開通で鹿児島市南部地域から鹿児島市松元地区～伊集院町～鹿児島市郡山地区～鹿児島市吉田地区～蒲生町～始良町～加治木町を経て溝辺町の鹿児島空港を結ぶ道路ネットワークを形成し、空港利用者の利便性向上を図るとともに、沿線地域の一体的な発展を支えます。

②災害に強いみちづくり

平成5年8月の集中豪雨による災害時に県内の主要道路が寸断され、国道3号、国道10号や九州縦貫自動車道が通行止めになりました。

国道3号をはじめ、南九州西回り自動車道、県道・伊集院蒲生溝辺線、県道・徳重横井鹿児島線、県道・鹿児島東市来線とアクセスする当路線が整備されたことにより、とくに国分隼人地域と鹿児島地域を結ぶ代替道路として機能します。

鹿児島県では、災害時に緊急物資の輸送計画である緊急輸送道路ネットワークにおいて第二次緊急輸送道路として位置づけています。

③地域の利便性を高めるみちづくり

通勤・通学・買い物などの基本的な地域活動を支え、豊かで快適な暮らしの実現と活力ある地域づくりを支援します。

なお、開通区間のうち旧松元町域の道路管理については、鹿児島市の合併に伴い平成17年度から鹿児島土木事務所の管轄になりました。

事業の概要

- | | | | |
|-------|--|--------|--|
| ●区間 | 自：鹿児島県鹿児島市石谷町
至：鹿児島県鹿児島市小山田町 | ●主要構造物 | 橋梁2箇所(仁田尾大橋、仁田尾跨道橋) |
| ●事業延長 | 全体延長L=7,900m
鹿児島土木事務所施工 L=3,200m
伊集院土木事務所施工 L=4,700m | ●事業費 | 総事業費 約156億円
鹿児島土木事務所分 約42億円
伊集院土木事務所分 約114億円 |
| ●道路構造 | 道路規格3種2級
設計速度60km/h
道路幅員13.0(25.0)m, 6.5(17.0)m | ●事業期間 | 平成8年度から平成16年度
平成16年12月 暫定開通
平成17年 4月 全線開通 |



整備前



整備後



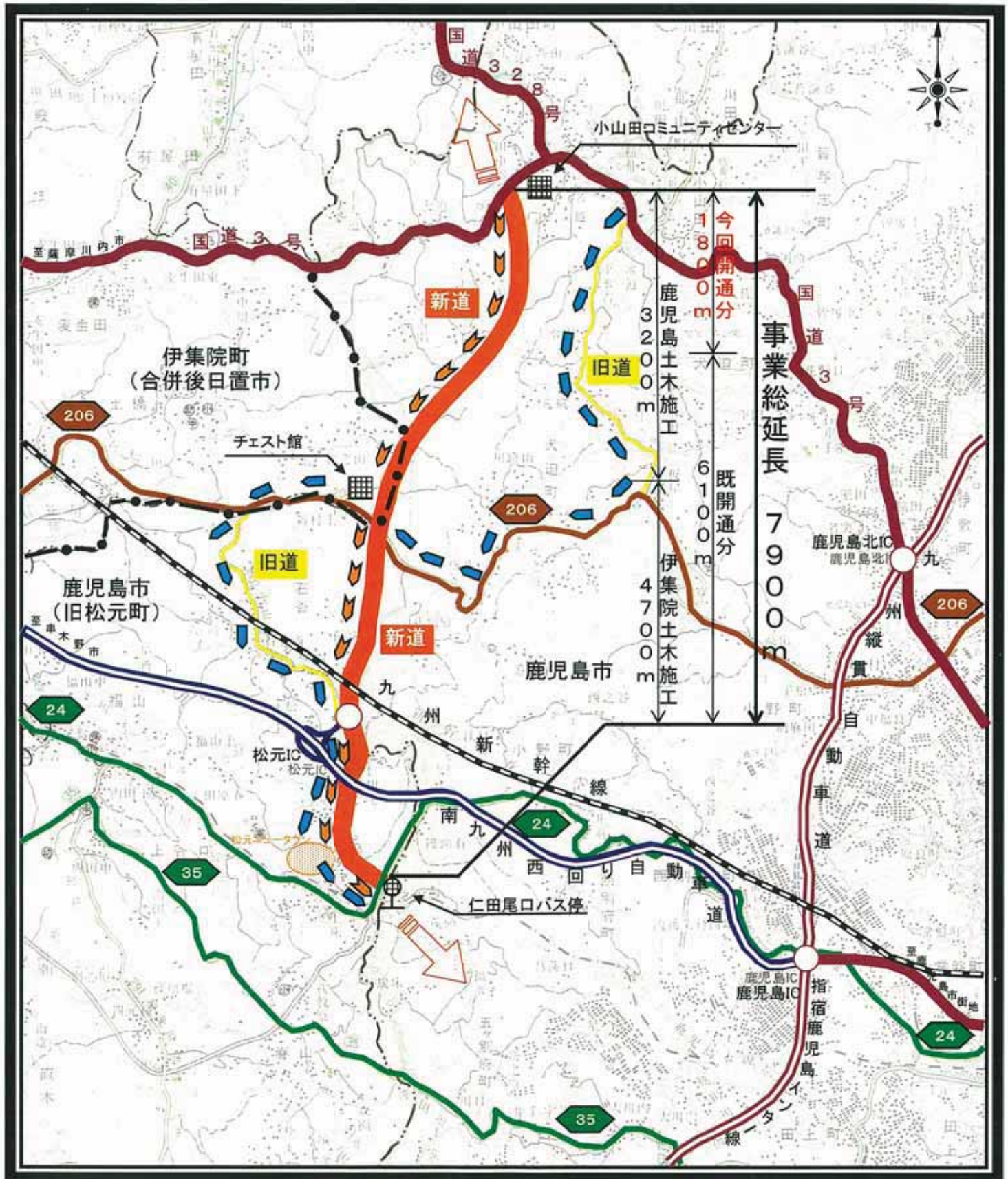
整備後

狭く、先の見えない道路が、

幅も広々、カーブ区間でも先がはっきり見える道路になりました。

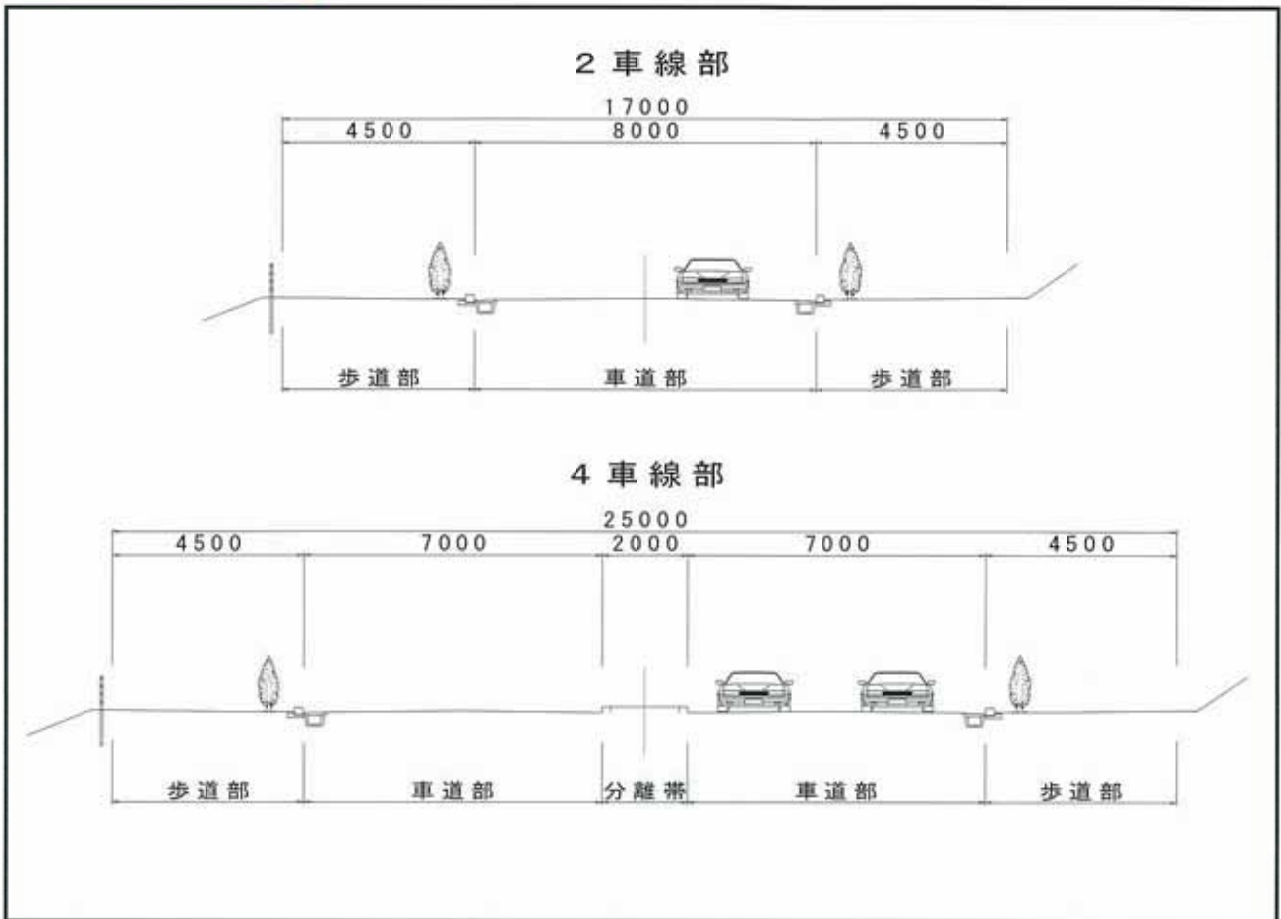
事業平面図

(下図は平成16年版管内図を使用)



凡例		主要地方道 鹿児島東市来線
		主要地方道 永吉入佐鹿児島線
		一般県道 徳重横井鹿児島線
		旧道ルート(延長12,500m, 通過時間19分)
		新道ルート(延長7,900m, 通過時間10分)
		市町村境界線(鹿児島市・伊集院町(合併後日置市))

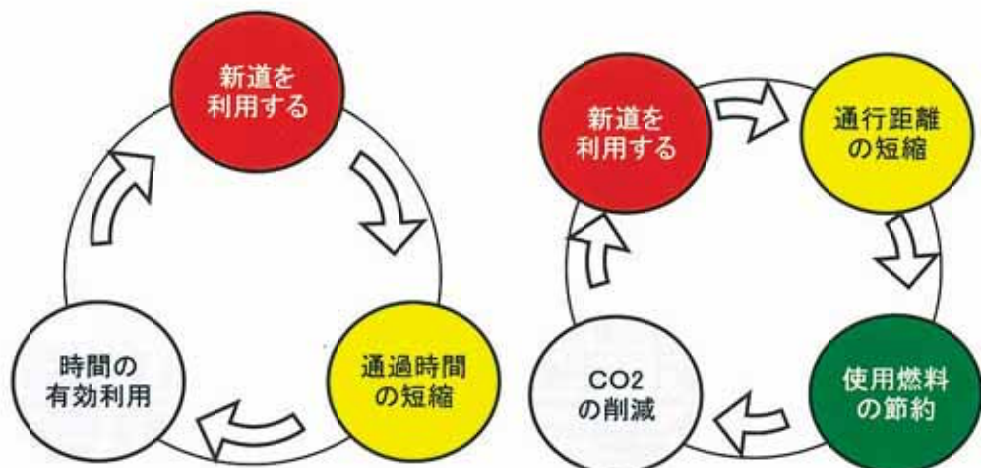
標準断面図



利用効果

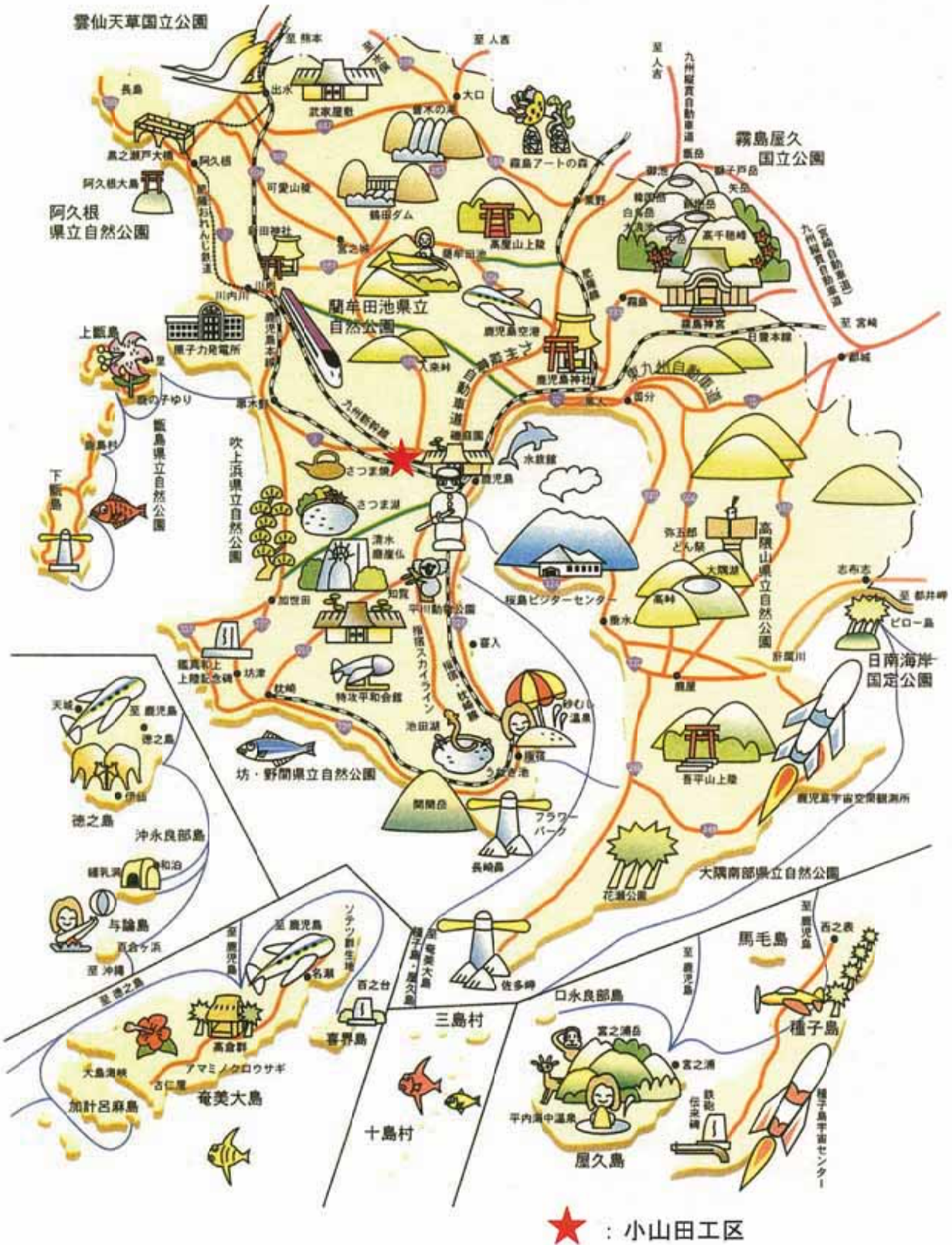
事業平面図にあるように、新道ルートを利用すると距離にして4.6Km、時間は9分短縮される道路が開通しました。(仁田尾口～国道3号間)これを毎日1往復するとして、1年間で距離にして約3,300km(桜島94周分)、時間にすると4日以上短縮になります。

{ 距離 4,600m × 往復 = 9,200m × 365日 = 3,358Km }
 { 時間 9分 × 往復 = 18分 × 365日 = 6,570分(4日13時間30分) }
 仮に自動車の燃費が15km/ℓの場合だと、およそ220ℓ節約できます。
 { 燃費 3,358km ÷ 15km/ℓ = 223.86ℓ }
 ガソリンの節約だけでなく温室効果ガス(CO₂)の排出量も減らすことができます。



小山田工区を探せ

(下図は鹿児島県の道路2004を使用)



道路についてのご相談はお気軽にどうぞ

鹿児島県土木部 鹿児島土木事務所
 〒892-0817 鹿児島県鹿児島市小川町3番56号
 Tel (099)223-0161 Fax (099)805-7406
 メールアドレス E-mail : kado@pref.kagoshima.lg.jp